

ガラランガラランとついてくる、ゆかのために。もつともつと、はやく行けるのに。

ゆかは、おねえちゃんのせなかを見ながら、今日一日のことを思い出していました。

すりむいたひざも、もう、平気です。

5 ゆかは、うん、とうなずいて、大きな声で言いました。

「わたしも、ぼじよりんなしにのるよー」

白い自転車をおいかけて、ゆかはぐん、とペダルをふみました。

(松井ラフ『白い自転車、おいかけて』PHP研究所)

*中略＝文章を適切うてはぶくこと。

問一 (1) (4) にあてはまることばとして、もつともつとさわしいものを次の中からえらび、それぞれ記号で答えましょう。(ただし、同じ記号は一回しか使えません。また、使わなくてよい記号もあります。)

ア うきうき イ ばたばた ウ いらいら エ ときどき オ とぼとぼ

問二 線① 「ひろおうとして、ゆかは、はつとしました」とありますが、ゆかは、どのようなことに気づき、「はつと」したのでしょうか。説明しましょう。

問三 線② 「クッキーをかじり、ぎゅうにゆうをのんで」でも、あじはちつともわかりません」とありますが、このときのゆかの気持ちとして、もつともつとさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

ア おねえちゃんが、自転車のかぎをなくしたことで深く悲しんでしまうことを、せんねんに思っている。

イ おねえちゃんが、自転車のかぎをかくしたのは自分であることに気づいてしまうのではないかと、きんちようしている。

ウ おねえちゃんが、自転車のかぎをすぐに見つけてあそびに行ってしまうのではないかと、あせりを感じている。

エ おねえちゃんが、自転車のかぎをこつそりかくしたことを自分に問いただすはずだと決めつけて、おそれている。

問四 線③ 「どきんどきんが、かけあしになりました」とありますが、このときのゆかの様子にもつとも近い意味のことばを、次の中からえらび、記号で答えましょう。

ア おねえちゃんをなでる イ おねえちゃんがさわぐ

ウ おねえちゃんをさわる エ おねえちゃんをくぐらせる

問五 線④ 「ゆかは、思わず目をそらしました」とありますが、なぜ、ゆかは目をそらしたのでしょうか。説明しましょう。

問六

——線⑤「ゆかのかちになってしまったのでした」とありますが、なぜ、ゆかのかちになってしまったのでしょうか。説明しましょう。

問七

——線⑥「ゆかは、ほっとしたような、がっかりしたような気持ち」について、次の(1)・(2)の問題に答えましょう。

(1) 「ほっとしたような」とありますが、ゆかはどのようなことにほっとしたのでしょうか。その説明として、もつともふさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

ア もうこれいじょう悲しむおねえちゃんのすがたを見なくてすむということ。

イ かぎをかくしたことを、お母さんにせめられずにすんだということ。

ウ かぎをなくして、いらだっていたおねえちゃんのきげんが直ったということ。

エ なくなったかぎが、お母さんのおかげで、すぐに見つかったということ。

(2) 「がっかりしたような」とありますが、ゆかはどのようなことにがっかりしたのでしょうか。その説明として、もつともふさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

ア なくしたかぎが見つかったことで、おねえちゃんがまた自転車をひとりじめしてしまい、自分は自転車であそべなくなってしまうということ。

イ かぎがもう一つあったので、かくしたかぎをかえずひつようがなくなり、自分がかぎをかくしたことをうちあけられなくなったということ。

ウ 新しいかぎをわたしておねえちゃんをなくさせているお母さんが、自分のことをまったく気にかけようとしてくれないということ。

エ よびのかぎがあつたので、おねえちゃんは友だちとあそびに行けるようになり、また自分は一人ぼっちになってしまうということ。

問八

——線⑦「ゆかの足はふるえました」とありますが、なぜ、ゆかの足がふるえたのでしょうか。その理由を説明したものとして、もつともふさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

ア おねえちゃんが自転車をなくしてしまったのは、自分のせいで気がつき、おこられるのではないかとあせっていたから。

イ 大切な自転車をなくしたおねえちゃんの深い悲しみが自分にも伝わり、おねえちゃんをかわいそうに思ったから。

ウ 自転車をなくして悲しんでいるおねえちゃんを見て、自分がしてしまったことの大きさを思い知り、心が落ちつかなくなったから。

エ 自転車をなくしてあわてているおねえちゃんを見て、自分がしたことを正直にうちあけるべきかをまよっていたから。

問九

——線⑧「ゆかは、ひざをかかえて顔をうずめました」とありますが、このときのゆかの様子にもつとも近い意味のことは、次の中からえらび、記号で答えましょう。

ア 息をぬく

イ とほうにくれる

ウ 顔をひねる

エ 面喰らう

問十

線⑨「おねえちゃんは、ぼかんとしてゆかを見つめました」とありますが、このとき、おねえちゃんはどのような気持ちでしょうか。もつともさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

- ア ゆかが、かぎをかくしたことを自分からうちあげたので、おどろいている。
- イ 自転車をさがすことにひっしになっていたゆかに、かんしんしている。
- ウ ゆかの言ったことやなきだした理由がよくいかいできず、とまどっている。
- エ ゆかのせいで自転車がなくなったことがわかり、いかりがこみあげている。

問十一

線⑩「けれども、ゆかは、がんばつて言いました」とありますが、このとき、ゆかはどのような気持ちでしょうか。もつともさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

- ア 本当のことを言つて、おねえちゃんにおこられるかもしれないが、きちんとあやまろうと決心している。
- イ 自分がかぎをかくしたことを正直に伝えることで、おねえちゃんからせめられることを、おそれている。
- ウ 自分がかぎをかくしたことをもうかくし通せないと思い、本当のことをきちんと話そうと意気こんでいる。
- エ おねえちゃんに自分がだまつていなくなった理由を聞かれ、どう答えればよいかわからず、とまどっている。

問十二

⑪にあてはまることばを、本文中からさがし、六字ちようじてぬき出して答えましょう。

問十三

線⑫「おこつたような、こまつたような顔でゆかを見ていたおねえちゃん」について、次の(1)・(2)の問題に答えましょう。

(1) 「おこつたような」とありますが、おねえちゃんは、どのようなことにおこつたのでしょうか。その説明として、もつともさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

- ア ゆかが、自分の大切な自転車のかぎをかくして、からかおうとしていたこと。
- イ ゆかが、自分にかまつてもらいたくて、かぎをかくしてしまったこと。
- ウ ゆかが、ないてばかりいる上に、自分にしつかりあやまろうとしないこと。
- エ ゆかが、あそんでくれない自分をこまらせようと、わざとかぎをかくしたこと。

(2) 「こまつたような」とありますが、おねえちゃんは、どのようなことにこまつているのでしょうか。その説明として、もつともさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

- ア いつまでもないているゆかを、どのようになぐさめたら良いのかということ。
- イ 正直に自分のやったことをみとめたゆかに対して、もう、しかえしができないこと。
- ウ 自転車がみつかったことを、どうやってゆかに伝えればよいのかということ。
- エ おころうとしたが、ゆかが心からあやまつてくれたので、おこれないということ。

問十四

線⑬「ゆっくりゆっくりペダルをこいでいきます」とありますが、このときのおねえちゃんの様子として、もっともさわしいものを次の中からえらび、記号で答えましょう。

- ア 今までゆかがさびしい思いをしていたことを知り、これからは妹のゆかのことをもっと気にかけてあげようと思いつている。
- イ まだまだ自転車にはおさないゆかに対して、目をはなすと、また一人で遠くへ行ってしまうのではないかとしんばいしている。
- ウ ゆかを深くきずつけていたことに気がつき、ゆかにあわせてゆっくりペダルをこぐことでゆかを落ちつかせようとしている。
- エ 自分にあそんでもらえずさびしい思いをしていたゆかの不満を受け止め、今後はゆかだけあそばすと自分に言い聞かせている。